

## 「主がわたしの手を」

### イザヤ書 41 章 10 節

聖学院大学 人間福祉学部 114W 青木 力

皆さんこんにちは。人間福祉学部人間福祉学科 4 年の青木 力です。あかしの時を与えて下さったことを心から感謝します。短い時間の中ではありますが、よろしくお願いします。

私は牧師の家庭で生まれ、礼拝を含め日常生活の中で神と共に歩むという事が普通の事でした。例えば、日常のごく当たり前の事でも上よりのものとして感謝し、神の創造の業を喜んでいきます。

私が洗礼を受けたのは、高校 3 年の頃でした。高校時代のほとんどは部活動をしていました。現在は聖学院大学フィルハーモニー管弦楽団でヴァイオリンを弾いていますが、当時は柔道部でした。私自身は運動が苦手です。そんな私が柔道を始めたのは中学の時に父の勧めで健康のために入ったのがきっかけでした。そこから 6 年間も続けることが出来たのはなぜでしょうか。実は中学と高校の時に一回ずつ短いですが、やめた時期がありました。練習がづらかったのと、学業との両立がとても難しかったからです。また、練習中に辛くて逃げ出したくなることも多々ありました。そのような時に心の中で祈ると、どんな時や場所であったとしても、いつも祈ってくださっている信徒の方や同期の子、先輩が応援してくれたり慰めてくれたりアドバイスをくれたりしました。そのおかげで、6 年間続けることが出来、中学卒業時には柔道初段を、高校卒業時には二段をとることが出来ました。この経験から、どんな時も私の事を神様は見下さっていて、いつでも祈りを聞き入れて下さるのだと気付きました。

先程歌った聖歌は、私が最も好きな歌で洗礼の時にも歌った歌です。この歌詞の中には主がわたしの手を取ってくださる、恐れることはない、どんな困難であろうとも越えることが出来るとあります。また、今回の聖句イザヤ書 41 章 10 節にも『恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。驚いてはならない、わたしはあなたの神である。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わが勝利の右の手をもって、あなたをささえる。』とあります。学校生活での体験とこの聖句によって、神様はいつも私のそばにいて私の事を助け導いてくださっているのだと気付きました。そんな中、高校三年の時に洗礼を受けました。聖書にあるように信じてバプテスマを受けるものは救われるとあるからです。その後、聖学院大学に入学しましたが、実行委員やオーケストラの活動で知恵が必要な時に自分の中で限界を感じ、祈ることが多かったです。その時、ベストなタイミングで人の思いを越えた上からのアイデアを頂きながら一つ一つ乗り越えることが出来ました。

みなさんは今、辛いことはありますか？悩んでいることはありますか？もしある方がいらっしゃいましたら、神様にお任せしてみませんか？きっと思ってもみないような方法で、あなたを救ってくださいます。

すよ。

これで私からのあかしは終わりです。

天にいらっしゃいます父なる神様、今日あかしの時を与えて頂いたこと、今まで良き知恵を与えて下さったことを感謝します。これからの生活の中で乗り越えることが困難な壁が立ちはだかることが私にも、また今日集われた方たちにもあると思いますが、その時にはあなたの御手にゆだねますのでどうか良き知恵と力をお与えください。

主イエスキリストの御名によってお祈りいたします。

2017年6月29日 聖学院大学 全学礼拝(学生の証し)